

令和4年度 幼児教育学科 学習成果

【学修成果】	
保育の本質	<p>1-1 (子ども観) 子どもの主体性を尊重することができる。</p> <p>1-2 (家庭・地域連携) 家庭や地域と連携するとともに社会的資源を活用する重要性を理解している。</p> <p>1-3 (保育者の資質) 保育者として望ましい使命感・倫理観及び共感的な態度を身につけている。</p>
保育の対象への理解	<p>2-1 (保育の原理) 養護と教育が一体となって展開される保育について理解している。</p> <p>2-2 (子ども理解) 子どもの心身の成長や発達に関する知識を有している。</p> <p>2-3 (文化的教養) 発達に即した児童文化財(絵本や紙芝居等)を選択することができる。</p>
保育の方法と技能	<p>3-1 (専門的技能) 子どもの表現活動を支援する技能を有している。</p> <p>3-2 (保育の計画力) 子ども及び環境に即した保育の計画を構想することができる。</p> <p>3-3 (保育の応用力) 子ども一人ひとりに寄り添った保育を展開することができる。</p>
論理的思考力	<p>4-1 (情報リテラシー) 書籍や新聞、インターネット等を用いて、様々な社会問題について情報を収集・分析することができる。</p> <p>4-2 (文章作成能力) 収集した情報及び獲得した知識・理解を用いて、論理的に思考し言語化することができる。</p> <p>4-3 (発表力) 自らの体験や思考を順序立てて説明することができる。</p>
実践力と協働性	<p>5-1 (自己省察力) 自らの知識・技能・経験を省察することができる。</p> <p>5-2 (課題探究力) 社会に存在する諸課題を発見し、解決策を模索することができる。</p> <p>5-3 (人間関係形成力) 様々な人々と協調・協働することができる。</p>